

令和元年度 第4回美篤地域協議会会議録

開催日	令和2年1月24日(金)								
開催時間	開 会	午後6時26分			閉 会	午後7時51分			
開催場所	美篤きらめき館 第1、2会議室								
委員の出欠		委員氏名				委員氏名			
出席16名 欠席4名	1	中山 一成	出	8	中山 恵介	出	15	丸田 旭雄	欠
	2	中澤 春樹	出	9	橋爪 依二	出	16	上島 郁子	出
	3	木下 隆人	欠	10	北野 徹	出	17	富島 克洋	出
	4	赤羽 今男	出	11	中村 敏一	欠	18	赤羽 教子	出
	5	有賀 春孝	出	12	遠山 豊	出	19	黒河内 浩	出
	6	矢野 清志	出	13	渋谷 明	欠	20	白鳥 敏明	出
	7	小松 千里	出	14	山岸眞由美	欠			
署名委員	橋爪 依二			北野 徹					
委員以外 の出席者	なし								
市側の 出席者	なし								
出席した 事務局職員	美篤支所長 伊藤 明生								
協議事項	1 子育て支援、魅力ある地域づくりについて 2 その他								
配布資料	1 名簿 2 桜を活かす地域づくり及び子育て支援グループ会議検討結果								

■概要

1 開会

伊藤美篤支所長の進行により、午後6時26分に開会する。

2 あいさつ（中山会長）

3 会議録署名人の指名について

会長から、9番委員 橋爪 依二委員と、10番委員 北野 徹委員を指名

4 協議事項（会長議長）

(1) 子育て支援、魅力ある地域づくりについて

（会 長）協議事項に入っていきます。グループ会議における検討結果の報告です。前回、11月19日に開催した協議会において、各グループから検討結果を報告いただいた。

「桜を活かした地域づくり」については、仮称「桜振興委員会」の設置についての提案の報告があった。「子育て支援」については、美篤地区の子育てに関するSWOT分析や子育て支援の目的として、「子ども達の安全確保」と「地域に根付く人材育成」という2つの観点を挙げ、施策、具体策について、検討している途中経過の概要であった。

資料に基づいて、それぞれのグループから報告をいただきたい。最初に「桜を活かした地域づくり」についてお願いしたい。

「桜を活かした地域づくり」グループ長 赤羽委員から、配布資料に基づき説明
（会 長）引き続き、「子育て支援」のグループの報告をお願いしたい。

「子育て支援」グループ長 中澤委員から、配布資料に基づき説明
（会 長）2つのグループから報告をいただいた。協議については後程お願いするが、この報告に対しての補足説明、質問をお願いしたい。最初に桜を活かした地域づくりの方からお願いしたい。

（委 員）予算の担保はないが、区長会に諮問された事項について検討・審議を行うということで、区長会の予算を使えるということか。

（グループ長）そういうことではない。予算はない。予算は後付けになる。具体的にどのような事業をしたらいいかというところから検討していかないとになる。初めから予算ありきでなく、1年ぐらいは、まず、検討期間で、実行には移せないものもあるので、それらを含めて検討してもらおう。最初から予算を持った組織を立ち上げるという段階にはとてもいけない。必要なことが決まった後で、予算付けが出てくる。

（委 員）極論を言うと、区長会長から諮問が何もなければ、何もしないで終わってしまう。ありうることだ。

(グループ長) 委員会をつくる以上、挙げられている課題について当然諮問をしていく。

そのための委員会なので、諮問することを前提とした委員会である。

委員会に適当に検討してもらおうとしても困るので、区長会で整理して、検討してもらった内容を諮問する。委員会の検討結果を受けて、区長会で整理して、次の段取りの道筋をつくってということになる。優先するものから年次別に選択してやっていくことになり、長期の取り組みになると思う。

そうした中で、区民からの若干の負担金が必要ということになれば、区長会で検討することになる。どういうことが必要かということ、まず、委員会で十分練ってもらおう。桜一本に絞って検討してもらおうという考え方である。

(会 長) 桜の関係で外にどうか。

(委 員) 区長会長から諮問をして、区長会長が委員会を招集し、委員長が区長会長へ報告するとなっているが、区長会長は、委員会に出席するのかどうか。あるいは、区長会から担当メンバーが出席するのか。

(グループ長) 区長会へ報告ということになるので、要請があれば当然区長会の代表も出るようになると思うが、細部の専門部をつくってやるとかなど、委員会が自律的に、委員会の中で検討してもらおう。諮問に対して答申しやすい検討方法は、委員会の中で協議して方向付けをしてもらうものかと思う。原則的には、要請がない限り区長会長はこの委員会には出席しない。

(委 員) 区長会長が招集というのは、委員長が招集のほうがいい。

(グループ長) それでもいいかと思う。

(会 長) それについては、検討ということで。

(委 員) 要望であるが、来年度の区長会長が、新しい委員へ諮問していく形である。

今回メンバーの中で桜に関する打ち合わせをして、熱い思いがあると思う。思いが次の区長会長とか、携わる人に伝わるような、トランスファーのようなのをやっておいてほしい。これは要望である。

(会 長) 質問、あとあれば。

(委 員) 任期が1年とするのが、いろいろ検討していくうえで、今やっているメンバーが入って、翌年までは残るような文言にしておいた方がつながっていくと思う。任期は1年で、再任は妨げないとなっているが、長期的に検討していくのであれば、半分半分ぐらい入れ替わるような表現の委員会組織にしておいた方がいいと思う。

(会 長) 今、地区として桜を活かした事業としては、各種団体協議会でライトアップ、剪定講習会、小学校行事への協力などを行っている。こういう事業やほかの事業も含めて事業計画を立てていく。当面、進めているものは進め、会議の中でそれをどうアップしていくのかとか、ほかの団体がやるのかなども合わせて検討していくという考え方でよいか。

(グループ長) 現状取り組んでいる事業については、当面は継続していく。検討結果の

中で、さらにパワーアップとか、逆に統一的、全体に輪を広げた形の事業にしていくとか、の検討が出てくると思う。現状は、結論が出るまでは、今の体制で実施していくことになる。

(会 長) 問題点もいくつか出ているので、意見も含め、協議をお願いしたい。

(グループ長) 任期については、継続性ということで最低2年ぐらいはという気持ちはあるが、初めての委員会なので、最初に担っていただく方の敷居も高いと思う。活動の中でできるだけ再任をお願いするというので、最初から2年、3年とするのを規程の中に入れてしまうと、なってくれる人もだいぶハードルが高くなってしまう。とりあえず1年で、できるだけ再選していく方向で協力をお願いしていくという気持ちで考えた。

委員会の招集は、委員長でも問題はないと思う。諮問と答申の関係があり、考えた。自律的な委員会で招集してもらっていいかと思うが、基本的には、事務局が美篤支所になると、文章の出し方になるが、委員長の招集でよいと思う。実質的な討議をしてもらい、答申・報告してもらえばいい。

副会長等は入れてないが、委員会の中で必要とあれば、お任せし、とりあえず委員長だけ、互選でという規程にしてある。

(委 員) 当面は何をするかということを経験して、1年、2年以降の話になるが、何かを始めるといふことになる、委員会と区長会がタイアップして実働部隊になって行くという考え方か。

(グループ長) 委員会へ全て任せる考えはないし、予算的なものがついてくれば別だが、それだけの力はまだない。多分区長会が実行部隊にならないと現実としては難しいと思うので、言われたようなイメージである。

(会 長) 先程話があった、今まで検討してきたものの継続ということについて、検討結果の資料の中に、「その他の委員、若干名 地域協議会 各種団体協議会代表など」と入っている。そういう中に今回検討してきた方が何人かが入るということで、カバーしていくという解釈でよろしいか。

(グループ長) そういう者が主導するということではなく、アドバイザー的な参加で、あくまでも各区から委員が主体となり、桜守、継続の形で協議会から若干名入っていく。いきなり丸投げして答申してくれと言っても無理なので経過を説明しながらやっていく。各区から選んでもらっている人選をまず最優先している。各種団体の代表者の具体的な役づけまで考えていないが、並行してその他の役員を明確にしていきたい。

(会 長) その外は、どうか。

(グループ長) 名称が仮称できているが、この段階に来れば地域協議会で正式名称を決めていただければと思う。

(会 長) 委員会の名称について、仮称を含めて4つ出ている。この中からでも、或いは、他に案があれば、お願いしたい。

(会 長) 説明があったが、「美篤桜振興委員会」では、地域づくりという感じがしないということである。名称のところに3つの案が示されている。仮称の「美篤桜振興委員会」を使わずに、この3つにプラスして委員からの案に絞っていいか。

～了承～

(会 長) それでは、この中の案でどうか。

(委 員) 2つ目の「美篤桜の里づくり委員会」で、桜を平仮名の「さくら」の3文字にする。

(委 員) それの方が、やわらかい。

(委 員) 地域づくりの一つに桜を出そうということだから、里づくりにしたほうが一番すっきりする。

(グループ長) 伊那市でも、桜守が参画している日本一の桜の里づくりということで、長期ビジョンの中にも桜の里づくりが入っている。伊那市も、美篤も同じにした方がよい。

(委 員) 里づくりにした方がよい。

(会 長) 字は、漢字を使うか、平仮名を使うか。市は漢字か。

(事務局) 分からない。

(会 長) 平仮名で行きますか。桜を平仮名にして、「美篤さくらの里づくり委員会」でまとめようだが、よろしいか。

～了承～

(会 長) 運営要領への意見でもいいので、そのほかどうか。

(グループ長) 今日の協議会の審議を経て、2月の定例区長会で、要領も含めて再度審議いただき、その時点で制定したらどうかとの考え方。それをもって実質、委員の選定依頼ができる。

(会 長) 先程出された、予算の関係についてはどうか。

(グループ長) 答申をもってで、来年度は、たぶん協議期間となる。

(会 長) もし必要であれば、区長会なりで。

(グループ長) まだ具体的な案はまとまっていないので、今回、協働のまちづくり交付金とかは無理。

(会 長) ものすごくかかるというような想定はできないと思うので、区長会や各種団体協議会で、用立てのできる範囲であれば。

その外あればお願いしたい。特に、このグループ以外の委員の方々はどうか。

(事務局) 一般的な要綱とか規則は、会を運営するための費用はどうするとか。要綱で全て決めきれないので、要綱で決められないものは、その都度決めるとかを補足しておけばいいのではないか。

(会 長) この要領にないものは、区長会及び委員長が定めるなど、一項を入れておけばと思う。

(会 長) 「桜を活かした地域づくり」の関係では、報告書に基づいた事業を進めていく

ための「美篤さくらの里づくり委員会」を区長会に依頼して、4月には設置していくということによろしいか。

～了承～

(会 長) ありがとうございます。

2番目の「子育て支援」について、先程報告があったので、まず、質問を受けたい。

(委 員) 補足になるが、文書でみると、夢ゆりの里とみぶの里の2施設にこちらから一方的にお願いしているように受け取る方もいると思うが、2施設とも協力的で、協力してくれるということは承知しておいてほしい。

(委 員) 学校との調整は取られているか。

(グループ長) オブザーバーで校長先生にも参加いただいたので、意見は十分反映されている。

(委 員) 子育て支援メンバーとか、学童クラブの高学年生とか、これ自身が了解済みでよいか。

(グループ長) 了解済みである。内容について全て承知されている。

特に、学童クラブの高学年生を対象にしたらどうかは、校長先生からのアドバイスをもらって決定した。オブザーバーの校長先生、主任児童委員の2人には的確なアドバイスをもらい、委員の知らないところが多々あり、非常に助かった。

(委 員) どのようなものがあるか分からないが、PTAも同じような組織があれば、別々にやるよりは一緒に合同してやる方がいいかもしれない。

(委 員) 自分も来年も残ると思うし、引継ぎして、新しいPTA会長も含めていきたい。

(委 員) やっていくのに、平日がほとんどであるので、メンバーの協力を相当もらわないといけない。最初、土日も想定したが、学童クラブがあるのが平日のみで、土日は美篤はやっていない。学校の休みの時はどうしても平日になる。とりあえず学童クラブを対象にしてやってみて、問題点が出てきたら対応していかなければならいかなという状況である。

多分、夏休みも春休みも平日の昼前後になると思う。委員や役員になるのは大変だと思う。協力いただかなければならない。学校も一緒にという話があったが、PTAにそこまでお願いすると、負担になってしまい大変だという話もあったので、PTAに協力はしてもらおうが、役員まで巻き込んでしまうと大変かなと思う。

予算的なお願いをしなければならないが、夢ゆりの里もみぶの里も、ある程度は大丈夫と言っているが、ただでやっていただくのも長続きしないと思っているので、協働のまちづくり交付金を来年度から手当てしていきたいというのが、この会の骨子である。

(委員) P T Aの組織で、このような機構があるならば、二重に動くのではなく、P T Aの組織の中で整理整頓するものがあれば、こちらに合流する形で検討するのもいいのではという意味である。なければなくていい。

(委員) 今年はない。

(委員) P T Aの負担になるようなことでなく、環境整備〇〇とか、あれば、二重でやるより、統一的こちらにしたほうがいい。

(会長) その他、意見も含めてお願いしたい。

(委員) 新しい組織を立ち上げるところで、桜は区長会が全面的にバックアップする話になった。こちらの方は、既存の組織を使うのが難しい意見が出ている。そこについて、意見があれば、いただきたい。

もう一つ桜と違うのは、要領をどうするか、ある程度つめる必要があるのか分からないので、アドバイスをいただきたい。

(会長) グループで協議していく中では、来年度1年間は、試行期間という形で、美篤ふれあいの会で、10回、10日程度行っていく。分からない部分が非常に多いので、やってみた中で推進母体や内容、対象者も検討経過の中では学童クラブの高学年について、もっと対象者を広げてもいいのではないかなど、いろんな意見が出た。1年間やってみて変えていく、実際の実施要項はつくらなければならないが、とりあえずについては、試行ということで組織としての要領はまだできないというようなニュアンスであったような気がする。

試行を入れていった方がいいと思う。ずれがあるか。

(グループ長) 試行を入れるとは。

(会長) 試行で、この事業をやるということであったと思う。

(グループ長) 10日間で全て試行かということ、どうか。10回が試行になるかもしれないが、やってみないとなかなか分からない世界がある。それは事実だと思う。

(委員) 中身が分からないが、協働のまちづくり交付金が試行で受けることができるのか。やってみなければ分からない部分があって、実際には試行であるが。

(会長) ニュアンスがあると思うが、試行を出さないで、試行的にというような形であるとか、含みをもったとらえ方をしてもらった方がいい。

地域協議会で検討するので、協働のまちづくり交付金についてはそういうような形でお願いしたい。

(グループ長) 「こうだ」と言い切らずに、含みをもたせた表現とするということで、申請書等は考えさせていただく。

(委員) やっていく中で、新たな組織が立ち上がることも。

(グループ長) 十分ある。

(会長) この団体、あの団体という検討経過もあったが、新しい美篤ふれあいの会で当面はやっていこうということに。この名称を使うか分からないが、母体として新しい地域づくりの組織ができればいいと思う。

- (会 長) 1番の高齢者と学童との「ふれあいの会」について、絞ってお願いしたい。
- (委 員) 美篤地域協議会において、2つ案件がある。それぞれいろいろな内容が出されているが、各支援グループに別々の考えがあって、足並みが揃ってなくていいのか。
- (会 長) 私は当然だと思う。
- (委 員) なんとなく同じような感じに動いていくのか、それとも全く別で動くのか。
- (会 長) 元々、桜づくりは狭められたテーマであり、子育て支援は、7項目あるように、性格が違うと思う。新たに作る組織も母体となるものが違って当然かと思う。
- (会 長) 「ふれあいの会」の関係は、よろしいか。何かこのようにしたらどうかということも含め、桜グループの委員も含め、お願いしたい。
- (委 員) いいと思う。
- (会 長) 7番の「地域の魅力を見せる工夫」は、次年度以降の持ち越しであるが、2番の「通学路グリーンベルトの設置」から6番の「登下校時の子供たちの安全を図る」について、何かあればお願いしたい。
- (委 員) いいのではないか。幅広く取り組んでいけばいいので。
- (会 長) 今年の検討についてはこれで、まとめさせてもらう。子育て支援グループの報告を受けて、高齢者と学童のふれあいの会を開催するにあたり、「美篤ふれあいの会」を立ち上げ、メンバーを構成していく。事業予算については、伊那市協働のまちづくり交付金を活用していく。詳細は、報告書のとおり。
- 2番の「通学路グリーンベルトの設置」から7番の「地域の魅力を見せる工夫」までは、報告のとおりで、地域協議会として了承するというところでよろしいか。
- ～了承～
- (会 長) ありがとうございます。
- (委 員) 4番の「美篤小学校見守り隊の組織化」の安全ベストは、どこが主体になるのか。
- (委 員) 美篤小の子どもを守り育てる会で行う。
- (会 長) ふれあいの会の関係で、社協の補助金は分かったか。
- (委 員) 社協からいろいろ話を聞いた。補助金を出すところが2つあり、1つは子供教育プロジェクトで、上限が1日2,000円で、何人集まっても低額。もう一つは、赤い羽根共同募金のボランティア団体等活動費助成金があり、継続した活動で上限が年額50,000円で、こちらの方がいいのではとアドバイスをもらった。
- (会 長) ボランティア団体の育成ではなく、ボランティア活動の事業補助金。
- (委 員) そうです。
- (委 員) まちづくり交付金とは違うんでしょう。

(会 長) 全然、別です。

(委 員) 社協のボランティア団体として登録した団体については、助成期間は制限がない。今やろうとしているのは、社協に登録していない団体になるので、助成期間が原則として3年になっている。この3年の中でボランティア団体に登録をしていく形になれば、期間制限がないということになり、上限年間50,000円が受けられる。

(会 長) 申請し、決定するのは後になるが。

(グループ長) 並行して考える。

(委 員) 申請時期は、昨年の場合、4月1日から5月10日までに申請して、決定が7月上旬、助成金の交付が8月上旬。実際にお金を手にするのは遅くなる。半年待つというような状況。

(会 長) 承知しました。

2つの協議については、終了していきたい。ありがとうございました。

(2) その他

(会 長) 本日用意した協議事項は以上である。その他でありましたら。

(委 員) 委員は変わるかもしれないが、最高決定機関の地域協議会の決定事項だから、区長会を通じて、両方を立ち上げということを徹底させ、しっかり実行していくことがまず一番の大前提である。2つとも非常にいいこと。地域が動いていることは、ほかの地域にない美篤地域が率先して、地域づくりに取り組むということで、大切でいいことだと思う。

細かいことや予算面であるかもしれないが、とにかく立ち上げ、運営して、問題が出てくれば、そこで考えて行くという形で、まずは実行に移していくことが必要と思う。新しい区長にも徹底してもらうことと、2つの組織が動くに当たり、特に区長会に大きな負担になってはいけない。独自の委員会をうまく動かしていく、区長会が上に立っていく、地域協議会が継続的に取り組んでいく、手綱を握りながら、両方をうまく運営させて、地域を発展させていくことに結び付けていくことが一番いいと思う。

(会 長) 議事録は取っている。議事録、或いは必要であれば、地域協議会長からそれぞれの団体へ依頼書をつくってもいい。

(事務局) 2月13日に各種団体協議会運営委員会がある。まったく同じメンバーである。短時間でも地域協議会を行い、最終確認をしてもらうかどうか。もし、そのようなことでよければ、どのような形にするか、検討したい。

(会 長) 2月13日に各種団体協議会運営委員会があるので、少し時間を取ってもらい、本日の確認で、議事録、依頼書など。何か文書化したもので、確認していただく。

(委 員) 4月からの新しい区長が、「知らなかった、関与していない。」といわれても困るので、議論してきたの決定事項。枝葉の動くこともあるかもしれないが、

それは新しいところで検討してもらえばいいこと。とりあえず、やるということが何より必要。

(会 長) とりあえず今回の決定事項を正しく伝えて、お願いをする形をとっていきたい。

協議については、以上で終了します。事務局でお願いしたい。

5 その他

(事務局) 5のその他をお願いします。

2月13日の各種団体協議会運営委員会の後に、地域協議会を開催して、本日の決定事項を最終確認することになったので、通知を出しますがお願いしたい。

3月23日午後6時30分から、最終の地域協議会になると思うがお願いします。別途文書で案内させていただく。3月16日で締め切る「協働のまちづくり交付金」の事業について、審査し、決定をお願いしたい。

それからもう一点、続けてになるが、3月24日午後6時30分から協働のまちづくり交付金事業の報告会があります。隔年で発表する地区をお願いしており、本年度は美篤地区が発表の当番となっている。地域協議会委員にも市の方から別途案内文書が届くと思う。ぜひ、都合をつけて参加していただきたい。

なお、美篤小学校資料館運営委員会に発表のお願いをしてあります。よろしくお願いしたい。

その他は、以上です。

(委 員) だれが発表するのか。

(事務局) 資料作りは、事務局の学校へお願いしてある。運営委員会でどなたかが発表する。

(委 員) うまく発表しないと、発表する人により、何を言っているのか分からないようなことがある。

(会 長) 自分が一生懸命になってしまうと。

(委 員) これまでの例、自分が一生懸命になってしまうのが多々ある。

(事務局) 自己成果のアピールでなく、協働のまちづくり交付金がいかに地域づくりにつながっているかを含めての発表ということでもいいか。

(委 員) 含めてではなく、それを主体に。自己アピールではないので。

(委 員) 今回、美篤の発表は2回目である。1回目は、桜の関係を区長会長である南割区長が発表した。

(事務局) その旨を事務局の学校へ伝えておきます。

(委 員) 我々も聞きに行くので、うまくやってほしい。

まちづくり交付金が、うまい使われ方をしているということがポイントである。

(事務局) 重ねてお願いする。

6 閉 会

副会長から閉会のあいさつ